

指定管理者評価シート

事業名	公園管理費	所管課(電話番号)	建設局みどりの推進部みどりの管理課(2536)
-----	-------	-----------	-------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	モエレ沼公園	所在地	札幌市東区モエレ沼公園1-1
告示年月日	1995年3月31日	面積	1,041,179㎡
公園種別	総合公園		
目的	都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資すること。		
事業概要	モエレ沼公園の維持管理及び運営(園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務)		
主要施設	ガラスのピラミッド、海の噴水、プレイマウンテン、モエレ山、野外ステージ、野球場、テニスコート、陸上競技場		
2 指定管理者			
名称	公益財団法人札幌市公園緑化協会		
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
募集方法	公募		
指定単位	施設数: 1 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	公園維持管理業務、有料公園施設(テニスコート、陸上競技場、ガラスのピラミッド)運営(利用料金制度)		
3 評価単位	施設数: 1 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

Ⅱ 令和7年度管理業務等の検証

項 目	実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価								
1 業務の要求水準達成度											
(1) 統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 モエレ沼公園の管理運営にあたっては、以下の基本方針により実施した。 ①平等・公平な利用の機会を確保し、公共の福祉増進の場としての利用効果を高める。 ②関係法令・条例等を遵守し、利用者や市民の声の反映に努め、開かれた管理運営による安全で安心、快適な利用環境を提供する。 ③資源・施設の長寿命化を念頭に置き、効率的な管理運営による経費削減を図り、安定した質の高いサービスを提供する。 ④コミュニティ活動の拠点の一つと位置付け、市民や関係諸団体・機関との連携・協働を推進し、資源の積極的な活用を図り、活動の場としての魅力を高める。 ⑤子どもをはじめとする来園者が、豊かな自然にふれ、自由な発想で遊ぶことのできる公園環境を提供する。 ⑥地域の健康づくり、運動拠点としての価値を向上させ公園の利活用促進につなげる。 ⑦札幌市が世界に誇る文化資産として公園の芸術性の維持とさらなる向上を目指し、来園者に感動と癒しを与える質の高い空間を提供する。 ⑧札幌市の重要な観光資源の一つとして、さらに広く認知され、活用されることを目指す。 ▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 1) 平等利用確保の方針 年齢や障がい、ジェンダー、主義・主張、思想・信条、民族や言語、社会的地位や身分の違い、その他不当な理由によって公園の平等利用が妨げられないよう、また、利用者に不公平感を抱かせることのないようスタッフ教育を徹底し、施設の管理運営を行った。 2) 平等利用のための主な取組及び成果 方針に基づいた取組を継続的に行うことにより、苦情件数は減少している。 ①平等利用の確保 ▼ガラスのピラミッド及びレンタサイクル受付に、車椅子及びベビーカーを配置し、無料貸出を実施 ▼公園パンフレット、HPは4カ国語対応を維持(日本語・英語・韓国語・中文繁体字・中文簡体字) ▼公園HPにおいて、より多くの方々に利用いただけるようウェブアクセシビリティを確保(JIS X 8341-3:2016(レベルAA準拠)) ▼HPやSNSのほか、園内(館内)の掲示におけるきめ細やかな案内・更新により、イベント・開花情報、施設利用情報等を提供 ②利用機会の平等 ▼イベント等で一部公園内に利用制限が発生する場合にはHPや園内掲示で周知を徹底 ▼火気使用ならびに占有等の違法行為や不法行為に対する迅速な対応 ▼ペット連れ来園者のマナー向上のため、HPへの掲示や案内チラシの配布を継続するとともに、園内巡回時に適宜指導	・当公園の設置目的に沿って策定した基本方針及び事業目標に則り、利用サービスの充実や満足度の向上など利用者の視点に立ちつつ、効率的な公園の管理に努めた結果、今年度の運営維持管理は順調に遂行できた。 ・全スタッフを対象とした研修を通じて、平等利用に対する意識を醸成したほか、朝礼時での情報共有など日常的な指導を適宜実施。平等利用のための各種取組を年間を通じて実施できた。	<table><tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr><tr><td colspan="4">方針の策定及びその実行について、適正に行われているものと判断いたします。利用者の視点を意識しつつ、今後も満足度の高い運営維持管理に努めてください。</td></tr></table> 適切に平等利用を促していると判断いたします。価値観は常に変化し続けますので、日々改善していく姿勢を継続してください。	A	B	C	D	方針の策定及びその実行について、適正に行われているものと判断いたします。利用者の視点を意識しつつ、今後も満足度の高い運営維持管理に努めてください。			
A	B	C	D								
方針の策定及びその実行について、適正に行われているものと判断いたします。利用者の視点を意識しつつ、今後も満足度の高い運営維持管理に努めてください。											

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 当協会独自のEMSを運用することにより、環境負荷の低減に向けた各種取組を実施した。 ▼全スタッフに対してEMS教育を実施した。 ▼一般ごみと資源化ごみの分別を徹底することでごみの減量化に努めた。 ▼剪定枝のチップ化など、植物リサイクルを実施した。 ここでは、ガラスのピラミッドと園内管理部分について概要を報告する。 ▼ガラスのピラミッド部分 夏期の冷房については、雪冷房システムを稼働しており、CO2の削減を図っている。平成22年度、令和5年度を除き、平成17年度から雪冷房のみで対応しており、令和7年度も雪の冷房のみで夏の冷房に対応した。 ▼園内管理部分 緑地維持管理作業の中で発生する樹木等の処理については、継続的にチップ化や堆肥化を実施している。 本年度園内で発生した食物残渣は366.1㎡であり、粉砕・加工したチップはマルチング材として利用し、堆肥化した刈草は有機肥料として土壌改良に使用した。	・本年は雪のみで冷房を行い計画通りのCO2排出量を削減した。次年度以降も気温等状況を注視してシステムを運用していくが、近年の気象状況下では冷房期間が長くなり、冷温水発生機のバックアップは必須となっている。今後、冷房システムについてどう価値を位置づけ、運用するか検討が必要である。 ・不要な電灯の消灯や照度調整、季節に合わせた施設開放時間の変更、冬期間における園路灯消灯範囲の拡大、LED電球への交換など継続的に節電に取り組んだ。 ・次年度も引き続き使用量削減に努める。 ・植物性廃棄物については園内にて再利用し、有効にリサイクルを行った。	適切に実施されています。依然として、電気料金及び燃料費の高騰は続いており、節電等の取組は必須と考えられるので、今後も使用量の削減やリサイクルに努めてください。
▽ 管理運営組織の確立（責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成） 統括管理責任者には、公園管理運営経験20年以上のマネージャーを配置するとともに、統括管理責任者を補佐・代理を担うサブマネージャーとして園地担当主任、ガラスのピラミッド運営担当2名を配置した。その他、ボランティアコーディネーター（兼務）、施設管理や緑地管理等作業、受付、監視などのスタッフを配置し、円滑な管理運営を行った。 また、研修計画に基づき、接遇研修、安全衛生教育等を実施するとともに、労働関係法令の遵守と関係規定の整備等により、スタッフが安心して働くことのできる雇用環境を確保した。	・管理運営組織を確立して円滑な業務遂行を図ることができた。 ・研修等は普通救命講習を対象スタッフ全員に実施し、職員のスキルアップとともにその成果を業務に活かすことに努めた。	適切に実施されているため、今後も円滑な管理運営に努めてください。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

利用者の満足度や要望等を随時把握するため、ガラスのピラミッド、レンタサイクル、フィールドハウスにそれぞれ意見収集のためのQRコードを設置しているほか、公園HPにも意見・要望フォームを開設している。また、ガラスのピラミッドでは対面アンケートを実施し、集計・分析を行っている。

なお、主な自主事業イベント開催時にはイベント参加者に対してアンケートを実施し、内容の改善等に役立てている。

事故や怪我、苦情については事故報告書や苦情等対応票を作成し、組織全体で即時に情報共有することにより、類似の事故や苦情発生の予防に努めた。

公園内の巡視・巡回を行うにあたり、要領及びポイントを夏期と冬期に区分して設定し、実施した。

・寄せられた意見・要望は真摯に受け止め、改善できるものについては速やかに対応した。

・事故発生時には迅速且つ的確に対応し、処置に関する問題はなかった。

・日常的な巡回と施設点検に重点を置いた巡回を併用し、事故の未然防止に努めた。

適切に実施されています。事故等があった際に、逐次、みどりの管理課に電話連絡していただいていることは大変評価されます。アンケートの分析結果を踏まえ、今後も管理水準の向上に努めてください。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

第三者への委託にあたっては、当協会の「工事及び委託被指名者選考委員会要綱」により「札幌市競争入札工事等参加資格者名簿」(札幌市)の登録事業者を準用し、札幌市内の企業・団体から優先的に選考した。

指名選考委員会を協会内に設置し、委託先を選考するとともに、「契約事務取扱要綱」により、入札または見積り合わせを行い、適正に委託先を決定した。

また、委託先決定後の業務については、委託先から提出される業務工程表、着手届、終了・完了届、日報、月報、期報、点検報告書、点検・業務写真などにより、マネージャー及びサブマネージャーなど複数の検査員によって履行を確認した。

・第三者への委託については、委託先の決定及び業務の実施とも問題なく遂行できた。

各種修繕・点検等は四半期報告等にて報告を受けており、適切に実施されています。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

▼札幌市との運営協議会

開催日	協議・報告内容
3月13日	・管理業務実施状況 ・管理運営上の問題点 ・自主事業の実施状況 等
＜協議会出席メンバー＞	
みどりの管理課：公園管理係長、公園維持係長ほか 公園緑化協会：事業3課長、モエレ沼公園マネージャー	

・運営協議会では、今年度の利用状況や取組の成果を報告したほか、今後の大規模修繕の計画等について協議した。

適切に実施されています。公園利用者や地域の方の声を元に、今後も管理運営へのフィードバックに努めてください。

▼モエレ沼公園利活用協議会

開催日	協議・報告内容
3月26日	・公園利用状況 ・事業（イベント・広報・連携事業等）実施状況 ・翌年度の主なイベント予定（自主・持込）等
<協議会参加メンバー> NPO法人モエレ沼公園の活用を考える会、モイレHIDAMARI、モエレ沼芸術花火実行委員会、札幌商店街振興組合、NPO法人公園ねっとわーく、札幌連合町内会、中沼連合町内会、東雁来連合町内会、当協会（事業3課長、モエレ沼公園マネージャー及びサブマネージャー、職員）	

▽ 財務（資金管理、現金の適正管理）

▼資金管理については、指定管理業務や自主事業等、公園ごとに区分している。

▼当協会の規定に基づき、現金や金券類、預金通帳等の施錠管理や帳簿類の内部監査を年2回実施しているほか、公認会計士事務所による外部監査を導入している。

▼現金等の取扱いに関しては、現金取扱規定を整備しており、管理体制の強化及び不祥事防止の取組みを行っている。

▽ 要望・苦情対応

要望・苦情対応については、その対応について受付、責任・担当部署等を明確にして対応・回答し、すぐに改善できることは迅速に対処している。

また、協会内で統一の苦情等対応報告票を活用し、所内のみならず組織全体での情報共有を行っている。

具体的には、要望・苦情として26件の声が寄せられた。内容は、施設の老朽化、野球場の騒音、近隣への路上駐車、園内の禁煙要望、持ち込みのロードレース大会の運営の危険性など多岐に渡った。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施）

モニタリングのための公園利用者アンケートについては、日常的に設置しているQRコードによる意見・要望フォーム以外に対面式でのアンケート調査を実施したほか、主要なイベント参加者へのアンケートも適宜行った。

ガラスのピラミッドは特定建築物にあたるため、必要な定期点検を実施した。また、衛生計画書を作成・遵守し、所管部署へ適時報告した。

指定管理期間の提案項目の履行状況を確認し、可能な限り実施するよう取り組んだ。

・利活用協議会では、当年度の利用状況や次年度の事業計画、改修工事予定など地域の関係者と今後のモエレ沼公園について情報共有する機会となった。

・不正行為や事故発生の未然防止のため、複数名による現金等の確認を徹底した。

不正経理等はなく問題はない。

適切に実施されています。

・公園管理事務所に直接お越しの方や電話で届く件数は少ない。アンケート等でも意見をいただくようにし、今後も苦情や要望を見逃さないように努める。SNS等その他情報媒体も注視し、広く情報収集に努め管理運営に反映させたい。

適切に実施されています。

SNSにおいて、公園における悪い利用マナーの拡散事例が相次いでいるため、今後も注視してください。

・モニタリング結果は適宜集計・分析を行い、市への報告書等を遅滞なく提出した。

適切に実施されています。

・自己評価点検を実施し、改善すべき事項については次年度の管理運営に反映させる。

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)		A B C D
	▼ スタッフの雇用に関して、労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法・厚生年金保険法、雇用保険法、労働契約法、男女雇用機会均等法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法、育児休業・介護休業等に関する法律、労働保険の保険料の徴収等に関する法律、その他関連する法令等に基づき、主として以下のような届出・対応等を行った。 ・全てのスタッフに対し、北海道最低賃金1,075円(令和7年10月4日発効)以上の時給を支給した。 ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜残業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ・就業規則・要綱の改正を行い、札幌中央労働基準監督署に適切に届け出た。 ・全スタッフの就業時間や休日等について、労働基準法を遵守した。 ・スタッフに時間外労働又は休日労働をさせるにあたり、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、札幌中央労働基準監督署に届け出た。 ・全てのスタッフを労災保険適用とし、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。 ・労働保険料等算定基礎賃金等の報告を北海道労働局へ提出し、労働保険料を納付した。 ・スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて健康保険・年金保険資格を取得するよう、適切に届け出を行った。 ・年1回の定期健康診断及びストレスチェックを実施した。 ・短時間雇用管理者を選任し、北海道労働局へ届け出た。 ・有期雇用契約者のうち、無期転換申込権が発生した者に対して周知し、希望の申し込みを随時受け付けた。 ・次世代法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を公開・周知した。 ・女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」において、女性の活躍推進に関する状況等が優良な団体として「認定段階3」を受けたことを周知した。 ・安全衛生委員会を設置し、毎月1回、各公園の担当課長が出席して委員会を開催し、職場の安全確保及び健康障害の防止に係る議題について検討し、その結果を各公園・施設のマネージャーを通してスタッフに周知して、健全な職場環境の実現に努めた。 ・維持管理作業従事者を対象に、作業における安全確保や機械の取扱いに関する講習を実施した。 ・ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、育児休業等の取得奨励、職場内コミュニケーションの活性化、有給休暇取得の奨励、ノー残業デーの設定などの取組みを行った。 ・公的資格の取得支援、接遇や安全・技術等に関する内部研修の実施、優秀なスタッフや高年齢者の継続雇用など、雇用環境の整備により、市民サービスの向上等に結びつく取組みを行った。 ・第三者への委託業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関わる情報提供を求めた。 ▼ 正規職員を新たに雇用する際、現在の非正規職員から3名が正規職員となった。 ▼ モエレ沼公園における労働災害発生状況0件	・指定管理施設の現場と本部事務局との連絡調整を密にするとともに、関係機関への必要な届出を迅速かつ確実に行うなど、労働関係法令を遵守し、すべての関係手続きについて適切に対応できた。 ・当団体での労働災害発生ゼロを目指して、毎朝のKY活動、ヒヤリハット事例の共有、安全大会の開催、安全講習の実施等に取り組んだ。 ・事故が発生した際には、安全衛生委員会において、原因検証と再発防止の検討を実施し、安全な職場環境の実現と、スタッフの雇用環境の向上を進めるなかで、市民サービスの向上につなげることができた。	適切に実施されています。道具の目的外使用や誤った使用による事案が見受けられますので、現場作業員に限らず周知徹底してください。

			A B C D
(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入) ①利用者の安全確保及び作業時の事故防止等のために、下記の取組・対策を実施 ▼安全教育や普通救命講習受講による事故等の未然防止や緊急時における即時対応が可能な体制を構築 ▼作業機械の整備不良による事故防止 ▼ハザードマップの作成・公開、ヒヤリハット事例の収集による事故等の未然防止 ▼安全管理の体制づくりと備品(AED、救急箱)の配備 ▼「さっぽろ救急サポーター」への登録(継続) ▼事故・災害等の発生や、利用規制・注意喚起が必要な事象の周知・告知による安全確保 ▼管理作業においては公園利用者の支障にならないよう配慮するとともに、利用規制が生じる場合は作業表示板やセーフティコーンを配置して、安全な公園利用に配慮 ②法令遵守・利用指導による公正とサービス向上 ▼法令遵守と有資格者等による作業の徹底 ▼遺失物法に基づいた対応マニュアルに則した公園の拾得物・遺失物の取り扱い ▼適切な利用指導による不正利用・違法行為の排除 ③当協会の過失または故意により札幌市または第三者等に損害を与えた場合に備え、損害賠償責任保険に加入	・朝礼時や研修を通じて作業及び利用における安全意識の徹底を図り、安全の確保に努めた。 ・急病者等への的確に対応するため各職員が普通救命講習の受講経験を活かし、救急車要請時等に迅速に対応することができた。なお、救命救急対応用として、ガラスのピラミッド、フィールドハウス、モエレビーチの3箇所にAEDを配備した。 ・公園利用者への告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を、ガラスのピラミッド・レンタサイクル・フィールドハウスに掲示した。	適切に実施されています。
	▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) 施設・設備等の維持管理については、常に適切な状態に維持し、快適かつ楽しく利用できるように努めた。主な施設と管理内容は下記のとおりである。 ①ガラスのピラミッド ▼開館前、開館中(随時)、閉館前の日常点検 ▼貸室利用後の点検 ▼日常清掃(毎日)及び定期清掃(2回/年) ▼アトリウムガラス清掃(内側及び外側:1回/年) ▼各種法定点検の実施 ②雪冷房システム ▼雪を貯雪庫に搬入する運用準備 ▼温度設定と外気冷房・床加熱設備を併用した細かな日常管理 ▼清掃やポンプ等の機械設備を点検する運用終了管理	・施設・設備の維持管理については、概ね良好に実施できた。また、経年劣化や老朽化に伴う設備や機械の不具合発生時には、直営または業者による点検や修繕を速やかに実施し、円滑な施設運営に努めた。 ・令和8年3月に雪入れを実施。雪入れ時期を前倒しする予定だったが、大雪による除雪車不足で難しかった。貯雪した雪の質が悪いため、温度変化に注視し、環境負荷低減を目指しながら快適な環境維持を目指したい。	老朽化している施設が多い状況で、指定管理者が日々の維持管理に努めることで、施設を稼働させている状況は大変評価できます。今後も施設・設備等の維持管理を適切に実施してください。

③モエレビーチ

▼全体点検、清掃、サンゴ舗装の補修等の点検を実施(7月下旬まで実施)以降修繕工事で閉鎖)

④海の噴水

▼運転準備

施設全体、躯体、ポンプ、バルブ、照明、監視システム等の点検及び試運転の実施

▼運転プログラムの設定入力

▼貯水槽内の残留塩素濃度の測定及び監視カメラによる利用者や動物の侵入監視を行う日常管理
▼老朽化による故障のため、前年度に引き続き全回をショートプログラムで打ち上げ。ライトアップは中止。

▼電磁弁・電磁接触器・パワーターミナルの交換及び制御盤、制御電源の応急修繕を直営で実施。

▼札幌市で警報信号ケーブル更新。その後12月、3月に管理棟内が浸水したため直営で応急対応し、業者に引き継ぎ。

▼冬季管理: 貯水槽の排水・清掃、ポンプ及びバルブの水抜き、照明器具の冬囲い

⑤遊具

▼部品の欠落や破損の有無を目視による日常点検

▼定期点検

・月1回、目視・触診・打診・聴診等に加えて、メジャー・ノギス等の計測機器を用いて、前回の計測時から変形・摩耗が生じていないかを点検した。

・年2回(4月・7月)、社団法人日本公園施設業協会が認定する「公園施設製品安全管理士」または「公園施設製品整備技士」の資格者を有する専門業者に委託して点検を実施した。

▼積雪期前後に一部遊具の設置・撤去を実施した。

⑥芝生・草地管理

▼大規模イベントの開催日を考慮し、詳細計画を作成。定期的に作業を実施することを基本とし、園内の利用状況や天候による影響を見ながら臨機応変に対応した。

▼7月・8月はまとまった降雨がなく、芝の状態をみながら管理を実施。陸上競技場は可能な限り散水を実施した。

▼農薬を使用しない管理により、安心・安全を提供した。

▼芝刈・草刈作業時における安全対策を徹底した。

・モエレビーチは老朽化が進んでいたが、7月下旬より修繕工事を実施。利用者の事故、トラブル無く終えることが出来た。

・こまめに修繕を実施したことでシーズンを通して打ち上げを実施できた。ロングプログラムについては機械への負荷が高く、運転中不具合が出る可能性が引き続き高いため今後の運用方法を札幌市と検討していきたい。

・一度改修が入ったエリアA/Bについて、遊具本体は老朽化が進み、崩落しそうなものもある。利用者からは修繕の要望・苦情をいただいている。塗装だけでも実施するなど、できるところから早急に改修を進められるよう札幌市と協議したい。

・草地の状態に応じて適切な管理が出来た。夏の高温は年々顕著になっており、芝への影響は大変大きくなっている。

⑦樹木管理 ▼支障木について順次剪定や撤去を実施し、チップシュレッダーによりリサイクルを実施した。 ▼サクラの生育調査を実施し、それをもとに剪定計画を策定、実施した。 ▼サクラの森には開葉期に殺菌剤を散布。冬季には殺菌剤の効果が見られようになり、サクラ類幼果菌核病の痕跡が減少傾向にあることを確認した。 ▼苗圃では主要植栽と開花時期の異なる品種のサクラの育種活動を行った。 ⑧冬季管理 ▼積雪不足により歩くスキーコース、ソリエリアについて1月9日からやや遅れての開設となった。 ▼スノーモービルでの圧雪や園路除雪等を実施し、利用者の散歩道を確保した。 ▼期間を通して雪質はあまり良くなく、滑走面が溶けていたり、反対に固まって硬いといった状況が続いた。 ▼2月中旬以降は降雪が少なく温度も高めであったが、利用者の需要に応え、ソリエリアは規模を縮小しつつも3月22日まで開放した。 ▼屋根の雪下ろしなど適宜実施した。また、大型除雪機械による園路除雪では、スノーポールを適所に設置して園路等破損することなく、施設維持と安全確保に努めた。 ▽ 防災 防災訓練計画を策定し、年2回ガラスのピラミッド消防訓練を実施した。 ハザードマップ(夏期用・冬期用)を作成し、屋内施設に掲示したほか、季節に応じて公園HPで公開した。	・サクラの森については次年度についても殺菌剤の散布等を実施するよう札幌市と相談して対処にあたっていきたい。 ・樹木の日常管理では、ボランティアとの協働により緑に関する講習会のサポートや圃場の除草、サクラの下草刈り等を行うことを通じて、市民参加活動を推進した。 ・冬季の気温の変化及び、積雪量の変化が著しいなか、できる限り安全に利用できるよう施設を開放できた。今後も気温変化、積雪状況を確認し、安全管理を徹底したい。 ・コース等利用内容ごとの看板を設置したほか、巡回時の案内を強化する等の結果、事故やトラブルを未然に防ぐことができた。
	・迅速な対応及び手順、今後の改善点を確認することができた。 ・ハザードマップは随時更新し、工事の情報も含め、最新情報が提供できるようにした。
	適切に実施されています。今後防災訓練等の有事に備えた準備を継続して行ってください。

(4)事業の計画・実施業務	▽ 学習機会の提供業務		A B C D
	モエレ沼公園の特徴を生かした芸術鑑賞、自然体験、スポーツ体験などの事業を企画・実施した。 ①芸術関係(美術・音楽等) ▼グランドオープン20周年記念事業 渡部睦子美術展「星見るひとたちと出会う旅」(10/21-29): 1,325名 ▼渡部睦子展オープンリハーサル&パフォーマンス(10/23): 40名 ▼グランドオープン20周年記念事業 大橋英児写真展「Your eyes are our eyes」(11/11-12/14): 3,488名 ▼大橋英児展ワークショップ(11/11): 13名 ▼大橋英児展トークイベント(11/30): 35名 ▼現代写真フォーラム(12/14): 20名 ▼モエレのホワイトクリスマス2025(12/20、21): 329名 ▼所蔵品展「イサム・ノグチ あかり」展(1/10-3/8): 5,091名 ②自然体験関係 ▼手作りウッドカトラリー1(4/12): 3名 ▼サクラツアー(5/3): 4名 ▼サクラで作るミニ盆栽(6/7): 10名 ▼たたいて染めるオリジナルトートバッグ(6/21): 6名 ▼モエレ未来の森づくり2025(6/22): 21名 ▼手作りバードコール(7/12): 7名 ▼モミジで作るミニ盆栽(9/20): 9名 ▼手作りウッドカトラリー2(10/18): 6名 ▼モエレクラフトXVII(11/15): 25名 ▼花や葉で飾るテーブルキャンドル(11/29): 13名 ③その他 ▼モエレの20年展(4/26-5/11): 6,961名 ▼さと・モエ合同ウォーキング2025(10/13): 109名	・グランドオープン20周年記念として、市内の団体と共催し、事業を実施できた。イベント開催後のアンケートではいずれも高評価をいただき、満足度の高い化事業を実施できた。 ・自然体験関係のイベントは、植物管理サポーター「モイレHIDAMARI」やモエレ沼公園の活用を考える会の積極的な活動により、満足度の高い事業となった。 ・継続開催しているクリスマスコンサートやウォーキングイベント、歩くスキー体験会は回を重ねるごとに価値が生まれてきている。引き続き実施できるよう努めた。	多くの事業が行われ、賑わいを創出した取り組みがなされたことは評価されます。今後も、利用者の満足度を高められるよう取り組んでください。
	▽ 持込イベント、メディア等に関する相談業務 公園全体が芸術作品であり特徴的な景観を有することから、今年度も様々なメディアによる取材・撮影希望を受けた。 ▼マラソンやランニング大会、自転車レースなど、当公園の立地や平坦な造りを活かした持込イベントが開催された。 受け入れに際してはモエレビーチの工事で使用できない園路等の調整を含め主催者と綿密な調整を行い、事前準備から当日運営・撤去作業まで円滑で安全な実施となるよう随時指導を行いつつ、利用促進に努めた。 また、イベント関係者車両の園内進入を極力抑え、時間帯や曜日を制限するなど、利用者の安全・安心の確保に努めた。 ▼野球場がリニューアルオープンし、大会利用が多く入った。野球場管理事務所と連携し、競技団体や観戦者に対して一貫性のある利用案内に心がけた。	・アート関係や観光関連のメディア、テレビ取材、プレス用画像貸出依頼も多く、スピーディな対応と丁寧な広報案内を心掛けることにより、高い満足度を得た。 ・野球場のリニューアルオープンに際して事前に案内方法などを検討し、統一した内容で案内できるよう努めた。テニス大会とも重複して開催することが多かったが、大きなトラブルなくシーズンを終えた。	野球場のリニューアルオープンにより、管理運営において検討事項が多かったと考えますが、大きなトラブルもなかった点は評価されます。今後も安全な公園利用を確保しつつ、野球場管理事務所との連携に努めてください。

	▽ 市民の自主活動及び交流の支援業務 ①モエレ沼公園利活用協議会の開催 ▼公園や地域の活性化を目指すとともに、公園の個性の醸成を図るため、ボランティア団体やNPO、周辺町内会参加による意見交換会「モエレ沼公園利活用協議会」を年度末に実施した。 ②モイレHIDAMARI(植物管理サポーター)との連携 ▼年間を通じて、季節に応じた植物観察会やクラフト体験会など植物関係のイベントを協働で実施したほか、苗圃の管理作業やレストラン前花壇の除草作業等の協力を得た。 ③モエレ沼公園の活用を考える会(MFC)との連携 ▼ものづくりワークショップや、「未来の森づくり」など屋内外での事業を連携して実施した。 ・6/22「モエレ未来の森づくり」 ・4/26、5/24、7/20、8/30、9/27、10/25「ガーデニングボランティア」 ④地域と連携した活動 ▼公園に隣接する札幌市立中沼小学校と連携し、環境学習を実施(6/18)。 ▼花火大会終了後、主催者及び市民ボランティアによる清掃活動を実施し、約450人の参加があった。 ▽ 情報収集及び提供業務 ①利用者の声収集 意見収集のためのQRコード設置のほか、定期的なアンケート調査、主催イベントにおける満足度調査など利用者の意見や感想を収集した。 ②ホームページの充実 公園HPにおいて、スマートフォンやタブレットでもアクセスしやすい環境を提供したほか、Googleビジネス、FacebookやX(旧Twitter)も併用して、工事関連の案内や各施設の開放状況の他、季節ごとの魅力ある情報をタイムリーに発信した。 また、主催事業だけでなく、持込イベントや、イサム・ノグチ関連の情報をウェブ上でシェアし、関連サイトへのリンクを張るなど、利用者の満足度向上につながるようサービスの充実を図った。	・ボランティア活動では、企画内容に工夫を凝らし、参加者のアイデアを生かした企画を立案。イベントの質の向上に繋げることができた。 ・近隣小学校との連携事業は、住宅街から離れている環境の中で、地域とのつながりを作る貴重な機会となっている。 ・次年度においても、周辺地域や企業、ボランティア、NPO団体との連携を緊密に図っていく。	適切に実施されています。今後もボランティア等と協力してよりよい公園運営に努めてください。																																																																	
(5)施設利用に関する業務	▽ 利用件数等 <table><tr><th colspan="2"></th><th>R6年度実績</th><th>R7年度計画</th><th>R7年度実績</th></tr><tr><td rowspan="3">庭球場</td><td>件数(件)</td><td>3,260</td><td>—</td><td>3,213</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>20,578</td><td>—</td><td>19,091</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>30.7</td><td>—</td><td>28.4</td></tr><tr><td rowspan="3">陸上競技場</td><td>件数(件)</td><td>112</td><td>—</td><td>102</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>5,974</td><td>—</td><td>7,340</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>13.8</td><td>—</td><td>14.1</td></tr><tr><td rowspan="3">ピラミッド貸室</td><td>件数(件)</td><td>514</td><td>—</td><td>560</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>14,173</td><td>—</td><td>13,796</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>36.4</td><td>—</td><td>38.2</td></tr><tr><td rowspan="3">レンタサイクル</td><td>件数(件)</td><td>29,760</td><td>—</td><td>38,821</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>29,268</td><td>—</td><td>38,821</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>33.1</td><td>—</td><td>28.2</td></tr></table>			R6年度実績	R7年度計画	R7年度実績	庭球場	件数(件)	3,260	—	3,213	人数(人)	20,578	—	19,091	稼働率(%)	30.7	—	28.4	陸上競技場	件数(件)	112	—	102	人数(人)	5,974	—	7,340	稼働率(%)	13.8	—	14.1	ピラミッド貸室	件数(件)	514	—	560	人数(人)	14,173	—	13,796	稼働率(%)	36.4	—	38.2	レンタサイクル	件数(件)	29,760	—	38,821	人数(人)	29,268	—	38,821	稼働率(%)	33.1	—	28.2	・庭球場利用は猛暑の影響があり、8月・9月が減少。件数、稼働率ともに微減した。 ・貸室は撮影の需要が多く貸出件数が増加。前年度比108%となった。次年度も利用者のニーズに応え、さらなる利用増を目指し、細やかな対応を続けたい。 ・レンタサイクルは、時間単位が2時間から1時間に変更となったため件数は増加したが、稼働率は微減。収入は大幅ダウンした。次年度は稼働率を上げるよう貸出品の更新など魅力を向上するよう努める。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr><tr><td colspan="4">今後、庭球場、陸上競技場ともに改修を予定していますが、引き続き適時適切な修繕に努めてください。</td></tr></table>	A	B	C	D	今後、庭球場、陸上競技場ともに改修を予定していますが、引き続き適時適切な修繕に努めてください。			
		R6年度実績	R7年度計画	R7年度実績																																																																
庭球場	件数(件)	3,260	—	3,213																																																																
	人数(人)	20,578	—	19,091																																																																
	稼働率(%)	30.7	—	28.4																																																																
陸上競技場	件数(件)	112	—	102																																																																
	人数(人)	5,974	—	7,340																																																																
	稼働率(%)	13.8	—	14.1																																																																
ピラミッド貸室	件数(件)	514	—	560																																																																
	人数(人)	14,173	—	13,796																																																																
	稼働率(%)	36.4	—	38.2																																																																
レンタサイクル	件数(件)	29,760	—	38,821																																																																
	人数(人)	29,268	—	38,821																																																																
	稼働率(%)	33.1	—	28.2																																																																
A	B	C	D																																																																	
今後、庭球場、陸上競技場ともに改修を予定していますが、引き続き適時適切な修繕に努めてください。																																																																				

	▽ 不承認・取消・還付・減免 ▼不承認＜合計0件＞ ▼取消＜合計377件＞ レンタサイクル: 377件 ▼還付＜合計21件＞ 庭球場: 20件、陸上競技場: 1件 ▼減免＜合計670件＞ 庭球場: 174件、レンタサイクル: 496件 ▽ 利用促進の取組 ▼庭球場・陸上競技場について、公園の利用促進と市民の体力向上を目的として、「スポーツの日」(10月13日)を無料開放した。 ▼庭球場にて、ボール・ラケットのレンタルを行った。 ▼貸室業務において、スポットライトや、グランドピアノ、電子ピアノ、大型ディスプレイ等の物品レンタルを行った。		適切に実施されています。								
(6) 付随業務	▽ 広報業務 主な広報の取組は以下のとおりである。 ▼公園リーフレットや自主事業のチラシをホテルなどの宿泊施設や公共施設、観光案内所、美術館や博物館等へ配布した。 ▼ インターネットを効果的に活用し、リアルタイムな情報発信に努めた。 ・公式ホームページ ホームページのページビュー数は1,237,046件となっており、昨年度と比較し87%に減少した。 ・メールフォームの活用 公式ホームページ内のメールフォームから来る問合せに即時に対応した。 ・X(旧Twitter)、Facebook、Googleビジネス各SNSの特性を生かし、施設開放状況やイベント開催情報、利用時のお願い等を都度アップし、より便利に情報を取得し、公園を楽しんでいただけるよう努めた。 ・公園だよりWeb版の活用 公園だよりWeb版に随時イベントを公開した。 ▼ 公園ホームページについてのウェブアクセシビリティ研修を担当職員対象に実施した。また取組確認・評価表を、令和8年3月31日に公開した。 ▼旅行情報誌やポータルサイト、芸術関係媒体等への公園情報の掲載については、聞き取り取材に応じたり、情報を最新に更新したり、画像や映像、資料を提供するなど積極的に対応した。 ▼アートギャラリー北海道に協力・参加し、広報を行った。 ▼札幌市主催のスタンプラリーや民間団体主催のスタンプラリーに参加し、利用促進を図った。 ▼ガラスのピラミッド内の掲示板にて、公園施設及びイベント案内を行った。 ▽ 引継ぎ業務 前回から継続指定を受けており、引継ぎ業務はない	・観光客の誘致としてリーフレットやチラシの配布を積極的に実施した。 ・イベントごとにチラシを作成。手に取りやすい・わかりやすいデザインで製作・配布し、利用促進につなげた。また、バイリンガル表示を心がけた。 ・イベント時やお花見など季節のトピックをウェブサイト、SNS、メールマガジンなどを複合的に使って情報を拡散することで、多くの方に情報を届けることができた。 ・引き続き、各種メディアへの情報発信を続けながら観光スタンプラリーなど他施設との連携事業に参加することで、情報発信をしていきたい。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">様々な媒体を通して公園の情報を発信する取り組みは評価されます。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	様々な媒体を通して公園の情報を発信する取り組みは評価されます。			
A	B	C	D								
様々な媒体を通して公園の情報を発信する取り組みは評価されます。											

2 自主事業その他

▽ 自主事業		A B C D
▼主催(共催)イベント モエレ沼公園グランドオープン20周年記念として記録写真展「モエレの20年展」、オランダ在住の作家・渡部睦子による北海道を題材とした個展、札幌在住で世界で活躍する写真家大橋英児の写真展を開催した。また恒例のクリスマスコンサートのほか、ボランティア団体と協働での観察会や体験イベントを実施した。冬季には所蔵品であるイサム・ノグチの照明器具「あかり」の展示を行い、四季折々の公園の魅力づくりに努めた。 ▼売店及びウィンタースポーツ用品等レンタル ガラスのピラミッド売店及びオンラインショップではイサム・ノグチ関連の書籍やグッズ、公園オリジナルグッズの販売を行った。その他、各施設に自動販売機を設置したほか、冬季には歩くスキー、ソリ、スノーシューのレンタルを実施した。 ▼電動自転車の貸出 利用者の利便性向上を目指し、電動アシスト自転車の貸し出しを実施した。	・モエレ沼公園グランドオープン20周年を記念した事業を市内各種団体と連携し、展開できた。 ・モエレ沼公園ならではの美術や音楽、自然環境を生かしたイベントなどを毎月開催。新たな公園の魅力向上を図り、利用促進に繋げた。 ・多様化するニーズをとらえ、来園者が満足感を持って帰ることのできる場所となるよう自主事業を企画、展開していく。	多様な自主事業を企画・展開している点が評価されます。
▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ▼ガラスのピラミッドの清掃業務や各種保守点検業務、警備業務等、第三者に委託する業務については、市内企業に発注した。 ▼車いすやベビーカーの無料貸出を行った。 ▼P2駐車場内の障がい者駐車スペースへの健常者駐車防止やスムーズな入出庫等を目的に、ゴールデンウィークや爆走そり大会等の混雑日に警備員を配置して誘導案内を行った。	・P2内の障がい者専用駐車区画は、舗装面の色を変えピクトを塗布することで明確に区別しており、さらにコーン設置により適正な利用を促すことができた。	ユニバーサルデザインに対する意識は高まり続けていますので、利用者の意見を尊重しながら利便性の向上に努めてください。

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果		A	B	C	D
実施方法	▼アンケートはガラスのピラミッドで対面アンケートを実施し、600件の回答をいただいた。 ▼その他、自主事業での主要なイベント開催時にアンケートを実施した。 ▼満足度については、「スタッフの接客態度」は札幌市の要求水準より+5%、「公園の印象」は札幌市の要求水準より+10%を目標値に設定した。	アンケートは市民のみならず観光客など様々な方に回答いただき、意見・感想、利用者状況を通年で把握するよう努めた。			
結果概要	▼公園全体の印象に対する満足度は、「とても満足」が62.5%、次いで「まあ満足」が34.5%で合計97.0%となり、札幌市の要求水準である70%、目標である80%を大きく上回る数値で達成した。 ▼スタッフの接客に対する満足度は、「大変良かった」が66.1%、次いで「まあ良かった」が25.2%と続き、合計91.3%となり、こちらも札幌市の要求水準80%、目標値85%以上を達成することができた。 ▼来園者の属性をみると、アンケート回答者のうち、「性別」では「女性」が66.8%となり、「男性」の31.5%を大きく上回った。 「年齢」では「20代」が最も多く25.5%。次いで「50代」が多く19.5%、「40代」が15.0%、「65才以上」が13.5%となった。20代の来園者数は例年同様高い傾向にあるが、その他の世代も平均して10～20%の間で推移しており、様々な年齢層の方が公園を利用している状況だ。 「職業」では、「会社員」が45.5%で約半数を占め、次いで「主婦／主夫」が17.8%、「学生」が13.2%となっている。 「同伴者」では、「家族（大人のみ）」が45.8%と最も多く、次いで「友達」が25.7%、「家族（子ども含む）」が12.2%となった。 「交通手段」では「自家用車」が最も多く34.2%、次いで「公共交通機関」が29.2%、「レンタカー」が24.7%となり、ここ数年一番多かった「公共交通機関」が順位を落とし「自家用車」が最も多くなり、自家用車利用圏内の来園者が増加したことがわかる結果となった。 ▼「居住地」では「北海道外」が62.4%と全体の半分以上を占め、次いで「札幌市内」が29.0%、「北海道内」が8.3%と、道外観光客が例年同様高い傾向にあるが、昨年、一昨年と20%程度だった「札幌市内」は約10%増加。札幌市民の利用が増加していることがわかる結果となった。 ▼「来園目的」では、「旅行」が最も多く52.1%、少し減って「散歩」が27.7%、「景観が好きで」が22.9%、「自然鑑賞」が20.5%と続いた。 「来園頻度」では「今日が初めて」が68.7%と全体のおよそ7割を占め、「これまでに何度か来た」が18.5%、「年に1～2回程度」が8.8%となった。 ▼イベント参加者への満足度調査では、「渡部睦子」展について、「非常に満足した」「満足した」をあわせると合計100%となった。また、「大橋英児」展では合計97%であった。「モエレのホワイトクリスマス2025」は合計96%。冬季に開催した所蔵品展「イサム・ノグチ あかり展」は、合計100%となり、いずれの事業も満足度が高く、好評であった。	・利用者の声を聞き、施設管理、接客対応の向上を目指して日々の管理をした結果、接客の満足度、公園満足度共に目標値を達成することができた。 ・観光客が依然多いが、市民の利用割合が少し多くなってきていることがわかるアンケート結果となった。 ・レンタカー／公共交通機関の利用が合わせて半数以上となっており、国内観光客／インバウンドの観光客のいずれもが様々な交通手段で来園している。 ・企画したイベントはいずれも好評であった。今後も利用者のニーズを踏まえつつ、イサム・ノグチがデザインした公園で実施する事業としてふさわしく、かつ新しい視点をもたらすことのできるイベントや展覧会の企画を実施していきたい。			

	利用者からの意見・要望とその対応	▼公園の「良い点」では「きれい・美しい」「景観がよい」「広大で自然豊か」など公園独自の魅力に対する称賛のほか、「管理や清掃・整備が行き届いている」「清潔」など維持管理に対して好意的なコメントも多くいただいた。施設別では、例年同様ガラスのピラミッドの空間や展示等に対する賞賛コメントも多く集まった。 ▼公園の「悪い点」では通の便の悪さ、案内表示の少なさ、ピラミッド内の夏季の室温についての言及が多かった。また、経年による遊具の傷み、冬季のカフェ休業についての不満も見受けられた。	・個別のご意見についても真摯に受け止め、利用者の要望にできるだけ応え、快適に利用いただける公園として管理運営に努める。 ・苦情件数は減少傾向にあるが、直接ではなくSNSや映像配信サービスなど、個人発信型のサービスで提示されることが多くなっている。今後も幅広い情報収集に努める。	公園の「悪い点」については、指定管理者の努力だけでは達成できない部分もあるかと思えます。逆に、「良い点」については、今後も評価されるために、引き続き、質の高い維持管理を続けてください。
4 収支状況				
▽ 収支		(千円)		A B C D
項目	R7年度計画	R7年度決算	差(決算-計画)	スポーツ施設、レンタサイクル、ガラスのピラミッド貸室の利用料金が改訂された。レンタサイクルは時間単位の変更があり、大幅な減収となった。 インバウンドの観光需要は安定しており、中国との関係が冷え込んだ中でも、他の国からの旅行者が来園している。利用者の変化にともなうニーズの変化についても対応し、様々なサービスを検討。期待に応えていけるよう魅力増、ひいては収入増へと繋げることに努める。 自主事業の収入増を目指して、今後もニーズや社会情勢の変化を捉えながら取り組んでください。
収入	187,364	237,548	50,184	
指定管理業務収入	172,914	187,213	14,299	
指定管理費	153,123	169,385	16,262	
利用料金	19,791	17,769	▲ 2,022	
その他	0	59	59	
自主事業収入	14,450	50,335	35,885	
支出	186,419	234,136	47,717	
指定管理業務支出	177,669	188,969	11,300	
自主事業支出	8,750	45,167	36,417	
収入-支出	945	3,412	2,467	
利益還元	0	0	0	
法人税等	945	802	▲ 143	
純利益	0	2,610	2,610	
▼ 説明 ▼ 指定管理費収入について、「札幌市都市公園の維持管理に関する協定における費用見直し等に関する確認書(電気料金及び賃金スライド)」により16,262千円の増となった。 ▼ 利用料金収入は、天候不良により自転車の利用が減少したため2,022千円の減となった。 ▼ 自主事業収入は、売店販売及びオンラインショップが好調であり、計画より35,885千円の増となった。 ▼ 指定管理業務支出は、全体の経費節減を図ったが、特に光熱水費の高騰が影響し、計画より11,300千円の増となった。 ▼ 自主事業支出について、商品の販売増に伴う仕入増や自主公益事業への繰入が増加のため、計画より36,417千円の増となった。 ▼ 利益還元については、公益法人の特質上、協会全体として収益の約半分を公益事業に繰り入れている。				

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持 ▼札幌市公園緑化協会の財務状況等は、令和7年度、赤字決算となり、運営安定化積立資産も取り崩すこととなった。次年度以降、なお一層の経費節減が求められるものの、自主事業の好調を引き続き継続し、経営能力の安定化を図っていく。また、他の構成企業についても、前年度から大きな変化はなく、安定経営能力に問題はない。		適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼情報公開請求はなかった。 ▼当公園の管理等に係るオンブズマンの実地調査はなかった。 ▼公園使用者に対する告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を園内に掲示した。 ▼物品購入や業務の委託等に際して、暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないよう徹底した。		適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
①公園作業実績 ▼植物の育成管理 公園の立地環境と植物の特性を十分考慮した年間作業計画を作成、樹木・草花・芝生等を気象状況を考慮しながら、利用目的や用途に応じたメリハリのある管理を行った。 ▼施設・設備等の維持管理 日常清掃・点検等により適切な状態を維持し、快適かつ安全に利用できるよう努めた。 また、野球場がリニューアルオープンしたことで、利用者の導線が変わった。こうした利用状況について野球場管理事務所、札幌市スポーツ部とも協議し利用方法を検討し、安全な公園開放を目指した。 また、例年、西駐車場が東区東地区の除雪センターとして利用されており、今年度も11月下旬から3月下旬にかけて設置された。また、大雪の影響で南口特設駐車場(野球場駐車場)が2月より雪堆積場として利用された。 ▼冬期管理 歩くスキーコースは小雪により1月初旬はコース開設ができなかったが、その後はソリすべりエリアともにシーズン終了まで供用できた。 また、雪まつりの採雪や供用前の野球場周辺の除雪協力などの要望に応え、安全に公園内で作業してもらいつつ、利用者の利便性を高めるように調整・対応を行った。 また、1月下旬からの大雪、その後の急激な融雪があったが、雪底処理や雪下ろし、施設周りの除雪などを適宜実施したことにより、雪による施設被害はなかった。また、園路除雪ではスノーボールを適所に設置し、大型除雪機械による園路破損を最小限に留めた。なお、雪冷房用の雪入れについても予定数量を確保し、業務期間内に終了した。 ②施設の利用状況 ▼今年度の入園者数は879,400人で昨年度よりも73,150人増加。本年度オープンした硬式野球場の入場者数が約6.5万人であり入園者数の上積みが見られた。円安等の影響から、観光需要が高く、海外観光客が多く来園した。また、物価高の影響を受けて自家用車圏内の来場者が増えつつあり、「安・近・短」の傾向が見受けられる。冬季は大雪で除雪が間に合わなく、バスが運休するなどの交通障害もあったが、2月の春節以降、利用者数は回復し、ソリ滑りなどの体験を求める利用者が来園した。 ③収入状況 ▼スポーツ施設は、前年比99%と微減。レンタサイクルは前年比63%と激減。ガラスのピラミッドの貸室及び野外ステージレンタルは前年比113%で増加。これらの結果、利用料金全体では前年比91%と減少した。	▼一般の公園利用者はもとより、障がい者、乳幼児連れの利用者、高齢者等の利用者が安全・快適に公園を利用できるよう、各種取組を継続するとともに、さらなる充実を図る。 ▼海外観光客へのアンケートを実施し、ニーズの掘り起こしを図る。 ▼公園利用者からの意見・要望のほか、周辺地域やボランティア、市民団体等の意見をふまえて管理運営に反映させ、親しみやすい公園づくりを目指すとともに、当公園の特徴的な景観や施設を活かした管理運営を行う。また、積極的にイベントを受け入れ公園を身近なものとして利用してもらえるよう受け入れ態勢を整える。 ▼公園の総合満足度平均80%以上(要求水準70%)、接遇に関する満足度85%以上(要求水準80%)を事業目標に掲げ、確実な達成に向けて、維持管理レベルの維持向上ならびに利用サービスの充実を図る。 ▼環境マネジメントシステムに従って環境負荷軽減への取組を継続的にを行い、環境へ配慮した運営維持管理に努めるとともに、生態系への配慮や環境保全等に関する普及啓発を推進する。 ▼公園施設が全体的に老朽化が進んでいるため、施設点検の強化や計画的な予防保全、適宜の更新により、ライフサイクルコストの縮減とともに公園施設の長寿命化を図る。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
全体的に適切な管理運営がなされています。札幌市の代表的な観光名所であることを念頭に、水準の高いサービスの提供を迫及していただき、利用者の満足度を高められるように、引き続き努めてください。	施設の老朽化が進んでいるため、点検等の際には、より一層注視するようにお願いします。また、施設改修工事が今後増加してくるかと思しますので、施工業者との調整を引き続きお願いします。